

三中進路通信 No.9

～自分らしい進路を考えていこう～ 2022/6/16



『17歳の君へ～自分の進路を決めるための本』より

17歳という、社会も大人として扱い始めます。また、将来のことも短期的な目標だけでなく、長期的な目標を立てて考えていかなければなりません。筆者は、都内の某高校でスクールカウンセラーをしていたり、フリースクールという施設で心理士をしていたりします。そんな経験から言えることが一つだけあります。「なんとなく大学や専門学校に行くのは非常に危険である」ということです。また、就職志望の人も適当に就職するのは非常に危険です。最初の職業を何年かやってしまうと、他業種に転職するというのはとても大きなエネルギーがいるからです。



まだ将来が見えないというのは当たり前のことです。時には、流れに流されるのも若いうちならばありなのかもしれません。ただし、進路選択における知識を知って流されることと、知らずに流されることでは、将来的な余裕がかなり変わってくることでしょう。

あなたの進路は？

高校を卒業する際の進路は、大きく分けて二つなのは皆さんご存知ですね。そう、就労か進学かです。ここでは、就労にアルバイトで生活を続けていく人も含めることにします。また、専門学校や職業訓練校は進学に含めます。

大きく分けたら、二つなのですが、現実的には3つめの選択肢があります。それが「空白期間」です。思春期関係で仕事をしていると、実はこの「空白期間」を選択する人が少なくありません。

社会的には「空白期間は悪」のように扱われていますが、一概にそういうわけでもありませんので、まずは自分の気持ちに素直になって生きたい道を明確にしてみてください。

進路希望にいけないことは何一つありませんので、自由に進路を考えてみてください。

それを踏まえた上であなたの進路をまず明確にしてみましょう。

最初に知っておきたい基礎知識

お金を使わずに生きている人は、この現代日本ではかなり少数派なのではないでしょうか。皆さん、何かしらの職業を得てそこからお金を頂いて生活していることだと思います。お金を得る方法というのは大きく分けて二つに分かれます。一つは労働者といい、何らかの団体に所属して経営者や資本家たちの指示に基づいて労働を行うタイプです。正社員、非常勤職員、パート、アルバイト、この様な形態はすべて労働者です。もう一つは経営者です。資本(設備やお金)を用意して自らの配分元に事業を行っていくタイプです。

すべての職業はこのどちらかに所属しています。そして、この二つは特徴がかなり違うので

はっきりと意識しておいたほうがよいでしょう。現在、皆さんの頭の中には労働者として働くことしか念頭に置いていない人が多いのではないのでしょうか。

労働者は労働基準法という法律によって守られており、よほどのことがない限り、大きなリスクを背負うことはありません。ただし、経営者の管理下に置かれますので、自由度はあまり無いと思って下さい。面倒くさいから今日は休むや、昨日飲みすぎたので午後から出社しようというのは、通用しないと思っていて下さい。そんなの当たり前かと思う方もいるかもしれませんが、経営者はその逆なのです。

経営者は基本的にあまり守られていません。事業が失敗すれば多額の借金を背負うこともありますし、経費を削減しないといけない状態ならば最初に削るのは自分の人件費です。その代わり、誰かの管理下に置かれることもありますので、「飲みすぎたので仕事は午後から」や「今日は面倒なので休み」も通用します。よく、役員報酬というのは大抵従業員よりも高めに設定されるのですが、それはいざという時に持ち出し（自分のお金を会社に入れる）しなければならないからなのです。

「いやいや、俺が経営者になれるわけないよ。お金ないし」と思っている方もいるかもしれませんが。しかし、実は経営者になるためにはそんなに大金がなくても大丈夫です。高校卒業後は経営者になる！というのも実は非現実的なことではありません。

大学進学の基本知識

高校から就職した方が有利なことがたくさんあるように、大学に進学した方が有利なこともたくさんあります。特に、大学に進学することの最大のメリットは、比較的待遇のいい労働者になるためには大学が必須であるということでしょう。世の中における大企業や、そこそこ大きな規模の中小企業に入ろうと思ったのならば大学卒業を必須にしているところが多いです。場所によっては〇〇大学以上でないと入れない企業というのも存在します。また、大企業の経営者になりたいというのならば、大企業の総合職は大抵大卒ですので、大卒者以外が大企業の経営者になることはありえないでしょう。

もう一つ、大学進学最大のメリットは研究職につけることも挙げられます。世の中の研究職は専門課程を卒業したスペシャリストで構成されていることが多いので、特定の分野のことを明らかにしたい意思を持った人は大学進学や大学院進学が必須になることでしょう。

また、大学卒業が絶対条件の資格もいくつか存在します。例えば、医師や薬剤師等は大学を卒業する以外になる方法が国内ではありません。

しかし、大学進学の特権とは言えばそれだけです。経営者になる場合はたいした恩恵はありません。（もちろん、専門的な業種の場合は大学を出た方が良いでしょう）

ただし、超有名大学に進む際にはそれ以上のメリットがあります。

例えば、あなたが日本で一番入るのが難しい大学に入つたとします。そこで、四年間友人たちと過ごし、就職したとしましょう。そして、就職してから20年後のあなたは労働者をやめて経営者になろうとしたとしましょう。そのとき、大学の時の友人と連絡を取ってみると、皆そこそこの企業や国や地方自治体のそこそこの地位についています。そうすると、経営者になって事業を起こす時とても有利なのです。

ほんらい どりよく かくとく じんみやく ゆうめいだいがく むじょうけん あた
本来、努力して獲得しなければならない人脈を有名大学ということだけで無条件に与えられる
のです。

じつ けいえいしゃ ひじょう
実はこれは経営者になる上でも非常に大きなメリットとなります。

もしあなたが、自由よりも安定を望むのであれば大学に進む意味は多いにあります。また、就 職
希望ではあるが、難関大学に入る学力があるならばとりあえず入っておいてもよいかもしれませ
ん。

かんり にがて そしき はたら きび めいかく しんろ
管理されるのは苦手で、組織の中で働くのはちょっと厳しい。だけど、明確な進路もないので
とりあえず大学に進むというのであれば、私は大学進学はお勧めしません。

せんもんがっこうしんがく き そちしき 専門学校進学の基礎知識

せんもんがっこう ほいく かんご せんもんてき しかく しゅとく
専門学校という所も大きく二つに分かれています。保育や看護といった専門的な資格を取得する
ための学校と、資格ではなくプログラミングなどの専門的な技能を身につけるための学校です。し
かし、この専門学校という所は学校法人以外の営利法人等も参入しているため、玉石混合です。
そつぎょう そつぎょう
卒業したところで何にも身にならない学校もたくさんあれば、就 職 まで親身に世話してくれる
学校もあります。

また、学問ではなく、技術を教える学校が多いのも特徴です。

そうごうしよく いっぱんてき しよくにん ろうどうしゃ
総合 職 （一般的なサラリーマン）になるというよりは職人よりの労働者になることが多いイメ
ージです。せんもんしよく そつぎょう しゅぎょう こうこうそつぎょうご げんば
専門学校には、中学を卒業してから修行するタイプの人と、高校卒業後に現場に行っ
て修行するタイプの人と、専門学校卒業後に入 職 するタイプに分かれます。

せんもんがっこうそつぎょう ひつす かいしゃ すく しょうらい
専門学校卒業が必須の会社というのも少ないので、将来のビジョンが見えている人は思い切っ
ていきなり就 職 してみるのも良い選択かもしれません。

ぎやく みらい
逆に、自分の未来についてもう少し時間がほしい人は専門学校も良いかもしれませんね。

しゅうしよくきぼう き そちしき 就 職 希望の基礎知識

そつぎょう しゅうしよく げんざい しんろ さい
高校を卒業して就 職 するというのは、現在メインの進路のうちの一つですね。その際考えて
ほしのが、経営者の道を選ぶか選ばないかということです。もしも、一生涯を労働者としてやっ
ていくというならば、こうぎょうけい しよくぎょう けんちくけい しごと
工業系の 職 業や建築系の仕事が良いかもしれません。これは、ぎじゆつ さえみ
につけば雇用してくれる会社が比較的多い上に、待遇も比較的良好くないからです。逆に、飲食店
とう しょうらいてき どりつ ぜんてい たいぐう
等は将来的に独立することを前提としていたりするので、待遇があまりよくないことが多いです。
もちろん、シェフを目指す場合は待遇が良い場合もあります。

もしも、経営者の道を少しでも考えるのであれば、いんしよく へんしゅう けんちくけい
かもしれません。これらの 職 業は、しよくぎょう どりつつかいぎょう てんこう わ ひかくてき ひんぼん おこな
独立開業やフリー転向、のれん分けなどが比較的頻繁に行
われている業界でもあります。勘の良い方はお気づきかもしれませんが、けんちくけい しごと けいえいしゃ
建築系の仕事は経営者としてやっていくにも、労働者としてやっていくにも非常にいい 職 業 なのです。 独特の世界観や
ぶんか しよく こま しよくぎょう
文化はありますが、職に困ることは少ない 職 業 でもあります。

くうはくきかん き そちしき 空白期間の基礎知識

くうはくきかん たと しゅみ きょう
空白期間にできることはいろいろあります。例えば、趣味であるオンラインゲームに興 じるの

もいいでしょうし、スペインを歩いて横断^{おうだん}するのもよいです。何かをするならばゆっくりエネルギーを溜^ためるのも良いかもしれませんね。とにかく何をしても良いのが空白^{くわうはくきかん}期間なので、自分がやりたいことをしましょう。ただし、大切なことは空白^{くわうはくきかん}期間は連続^{れんぞく}で1年を超えないようにした方がよいということです。

17歳^{さい}の君たちはまだ若い。1年くらいであればどうにでもなります。正直^{しょうじき}、私も1年留年^{りゅうねん}していますが、不自由に感じたことはありません。社会に出れば一年などたいした時間ではないのです。

2年になってもそれは変わりません。大した時間ではないのです。ただ、2年空白^{くわうはくきかん}期間が開いてしまうと、帰ってくるのが困難になります。それは社会的な受け入れ体制もそうなのですが、自分^{じぶん}自身の気持ちがどうしても外でやっていく気持ちにならなくなってくるのです。なので、進路^{しんろ}選択^{せんたく}の時点で「よし！空白^{くわうはくきかん}期間にしよう！」と決めた君たちは同時に「1年で次の所属^{しよぞく}を見つける！」と強く思っていて下さい。

金銭^{きんせん}の話

社会^{しゃかい}で生活^{せいかつ}するにはお金が必要です。進路^{しんろ}によってはたくさんお金^{かせ}が稼^{しょうぎよう}げる職業^{しよくぎよう}もあれば、あまり稼^{かせ}げない職業^{しよくぎよう}もあります。安定的^{あんていてき}に高収入^{こうしゅうにゆう}が入^{はい}るのは大企業^{だいきぎよう}のサラリーマンですが、入^{はい}るのは比較^{ひかくてきむずか}的^{てき}難しいです。

一つ皆^{みんな}に考えてほしいことは、そんなにお金^{かせ}がほしいの？ということです。「そんなの当たり前じゃん！」と思う人もいるかもしれません。それならば、お金を稼^{かせ}ぐことに全力^{ぜんりよく}になるのも面白いかもしれません。ただ、お金^{いっばい}というのはお金^{いっばい}にすぎません。お金を一杯^{いっばい}持^もっていれば幸^{しあわ}せか、お金を一杯^{いっばい}持^もっていれば偉^{えら}いのかという問いかけには私は違^{ちが}うと答^{こた}えます。確かに、お金^{たし}がないと我慢^{がまん}することも多いです。私はお酒が好きですが、「本当はバーでお酒^のを飲^のみたいけど、今月^{しんげつ}きついから缶チューハイで済^すみますか」ということもたくさんあります。お金^{よくぼう}があればこの欲望^{かいけつ}を解決^{かいけつ}することができます。でも、それよりも、今の職業^{しよくぎよう}で思春期^{ししゅんき}の子供^{こども}たちと接^{せつ}していて、彼^{かれ}らの人生^{じんせい}の支援^{しえん}をしていくことの方が幸^{しあわ}せなのです。きっと私^{わたし}にお金^{かね}がたくさんあったならば、今の仕事^{しごと}を無給^{むきゅう}で行^{おこな}うことでしょう。なので、幸^{しあわ}せというのは実^{じつ}はお金^{かね}とは関係^{かんけい}なかったりするのです。

あとがき

高校^{こうこう}を卒業^{そつぎよう}すると、みんな社会^{しゃかい}に出ていかなければなりません。ただ、大人はみんな口をそろえたように「社会^{しゃかい}」というけれども、実は社会^{しゃかい}なんていうのはどこにも無いのです。なので、社会^{しゃかい}に出るといっても実感^{じっかん}がつかめないことは当然^{とうぜん}のことなのです。

私は、いつも社会^{しゃかい}に出るということをこう説明^{せつめい}します。あなた方は高校^{こうこう}を卒業^{そつぎよう}すると、自分の力^{しあわ}で幸^めせを目指^{めざ}さなければならぬ。幸^{しあわ}せをつかむには、良い職^{しよく}に恵^{めぐ}まれることは本当に大切^{ほんとうたいせつ}なことでしょう。良い職^{しよく}というのは、もちろん金銭^{きんせん}的な待遇^{たいぐう}がよいということではありません。自分^{じぶん}自身がこの職業^{しよくぎよう}につけて良かったと思うことが良い職^{しよく}なのです。中には、それがお金^{ふか}と深く絡^{から}んでいることもあるでしょう。それはそれでよいと思います。進路^{しんろ}に悩^{なや}む皆^{みな}さんが将来^{しょうらい}良い役割^{やくわり}につけることを私は心^{こころ}から祈^{いの}っています。